

報道関係者各位

2024年1月16日 配信 No.2023-43
立命館アジア太平洋大学 (APU)**別府短編映画プロジェクト x APU共催 学生・教職員向け
特別講演「1本の映画ができるまで」・演技ワークショップ実施**

立命館アジア太平洋大学（大分県別府市、学長：米山裕、APU）は、2024年に別府短編映画プロジェクトが制作するキャンパスを舞台にした短編映画の制作に協力します。その一環で、APUキャンパスにて、1月22日（月）に学生・教職員を対象に「1本の映画ができるまで」をテーマとして、特別講演と演技ワークショップを実施します。

特別講演では、萩原健太郎氏（映画監督）と、森田真帆氏（別府短編映画プロジェクトプロデューサー）が、映画制作における一連の過程などを話し、アイデアが生まれる所からスクリーン上映までそのようなプロセスがあるのか、また映画制作においてどんな仕事や役割があるのかなどを学びます。

演技ワークショップは、学生・教職員の希望者を30名程を募り、参加者は小グループ（5~6人）で言葉を使わない、非言語コミュニケーションでの演技に挑戦します。

今回の講演会とワークショップへの参加は登録制で、参加者には、今後の制作に関連した協力を募る予定で、エキストラやキャストなど制作のサポートとして参加を希望するかどうかなどを尋ねています。学内での登録は、1月12日（金）から受付中で、既に定員を超過した登録があり、学内の関心の高さが伺えます。

イベント概要**【日時】** 1月22日（月）1回目 12:30~14:10（3限） ※ご取材いただけるのはこちらの回です。

2回目 18:00~19:40（6限）

※どちらも同じ内容

【場所】 グリーンcommons（J棟）J204教室**【言語】** 日英（自動翻訳 英語字幕）**【定員】** 講演：50名程度 演技ワークショップ（先着）：学生30名、教職員15名**【講師】** 萩原健太郎氏（映画監督）

森田真帆氏（別府短編映画プロジェクトプロデューサー）

【内容】 特別講演 映画制作について「1本の映画ができるまで」（50分）

ワークショップ 演技ワークショップ（50分）

小グループで、非言語コミュニケーションの演技に挑戦

APUでは、今後もキャンパスを舞台とした短編映画の制作に関わり、別府短編映画プロジェクトと共催で、学生との交流イベント、主要キャストを交えた制作発表、プレミア上映会など、様々な取り組みを実施してまいります。この短編映画をきっかけに、地域がより活性化し、別府を盛り上げる一助となることを目指し、取り組みを進めていきます。ぜひご注目ください。